



大難所集の激流に挑む小鵜飼船 580×690



落ち鮎 242×272

最上川俳画展 柴田玄石

平成29年 7月28日(金) - 8月22日(火)

真下慶治記念館 企画展示室



基点難所と下り舟 480×760



最上川美術館
真下慶治記念館



柴田玄石 最上川俳画展

真下慶治記念館 企画展示室

平成29年 7月28日(金)～8月22日(火)

ながきに渡り俳画の指導をなされて、また数冊の本も出版されています。全長229キロに及ぶ最上川での生活者一人一人を丹念に訪れて制作された、柴田玄石(謙吾)氏の作品、13点展示致します。40mに及ぶ最上川絵図は圧巻ですが一部の展示となります。見ごたえがある作品の数々です。俳画展にあたり、株式会社 柴田原料 会長 柴田津興志氏には多大なご協力をいただきました。ご高覧のほど、お待ち申し上げます。

柴田玄石(謙吾) 俳画歴

- 明治45 山形県朝日町生
昭和22 南満洲鉄道(勤務後)終戦にて郷里に帰還
24 柴田原料(菓子原材料・器具卸売)を山形市にて創業
29 小野田二石庵に師事し、川村目呂二系の俳画を習得
30 最上川民俗史の調査研究、資料の収集及び製作に歩を進める
42 師二石庵に協力し、「みちのく俳画会」を設立 副会長を務める
44 最上川総合文化絵図の製作に着手(河口から源流まで、幅60cm、長さ40m、全長実測の1/5,000)約10年後に原画が完成
50 二石庵他界後、「みちのく俳画会」を継承
52 会長就任、北部公民館にて後進の指導にあたる
大江大橋(大江町大字富沢から右岸)の橋梁の大柱に工作されたレリーフの原画を描く
54 山形芸術学園 俳画教室開講と同時に講師就任、19年間指導にあたる
57 国立民俗歴史博物館(千葉県佐倉市)より小鵜飼船の複製品製作の依頼を受け、資料展示に協力
59 ◇最上川舟運に関する資料や小鵜飼船、船着場、船頭の様子、川絵図(全長40m)など俳画にて記録に留める
◇山形県立左沢高等学校新校舎落成時に左沢船着場「川岸と小鵜飼船」の俳画80号を掲鏡
◇波乱に満ちた終戦前後の自分史「大突破」を刊行装画とともに挿絵20枚を描く
◇河野南畦氏(「あざみ」主宰)に俳句の指導を受けるとともに句画合作の作品を製作
平成1 「第3回大衆文化賞」受賞 財山形県社会文化協会より
4 北部公民館会報に挿絵や最上川に関する記事を平成17年まで連載
5 俳画テキスト「俳画百態」を刊行
10 ハリソン・M・ホーランド氏(元東北芸術工科大学客員教授)著述「知られざる日本」の題字装画を担当
11 ◇500余点の最上川資料及び俳画を山形県郷土館「文翔館」に寄贈
◇「第20回山形市民文化賞」受賞 山形市より
13 調査研究の成果として「最上川小鵜飼船と船頭衆の生活」を刊行
18 「みちのく俳画会」展は5月で第39回を迎える
22 11月27日逝去

最上川絵図 40m 一部



最上川美術館
真下慶治記念館

〒995-0054 山形県村山市大字大淀1084-1 TEL.0237-52-3195 FAX.0237-55-2152
E-mail mogamigawa@city.murayama.lg.jp HP www.massimo-k.org
開館時間/午前9時～午後5時 休館日/水曜日(祝日の場合は翌日)